

近畿

近畿の景況は、住宅建築が一進一退となったものの、観光が好調となるなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したものの、大型小売店販売において衣料品が減少し、横這い。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、一進一退。設備投資は、中小企業で投資抑制姿勢がみられ、伸び悩み。公共工事は、国、独立行政法人等が減少し、弱含み。輸出は、半導体等電子部品、科学光学機器が増加し、回復に向けた動き。

生産活動は、鉄鋼、電気機械が増加し、緩やかな持ち直し。観光は、温泉地、観光地への入込客が増加したほか、ホテル稼働率も上昇し、好調。雇用は、現金給与総額が増加したほか、新規求人数も増加し、改善。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								